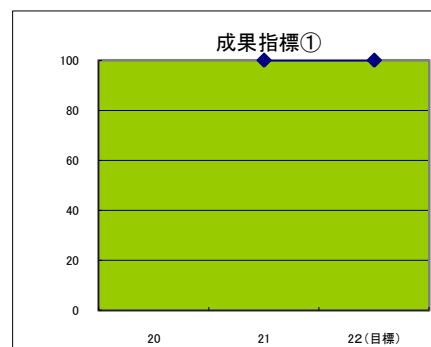
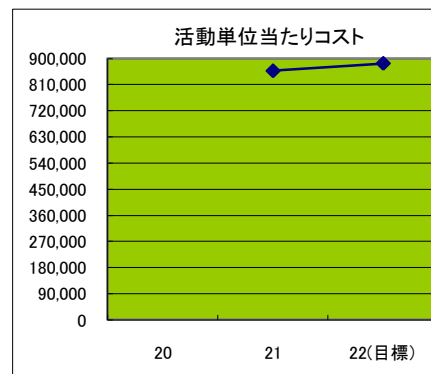


事務事業名		地域とつくる水辺環境事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	6	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	5	農地費
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともにつくるまち	事業	51	土地改良(臨時)	
	施策(節)	1	市民協働と地域コミュニティ				
	施策の方向	(3)	協働によるまちづくりの推進				
関連する計画等				作成部署	生活環境部産業振興課		
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072-958-1111 内線 2921		
	ふれあう水辺づくり委員会(伊賀今池ピーチパーク)・パークはびきやま管理運営協議会(下印池パークはびきやま)						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	地域の和を育み、笑顔と活気のあふれる施設・地域づくり、地域の方々の憩いの場づくり						
	対象施設:伊賀今池ピーチパーク・下印池パークはびきやま 対象団体:ふれあう水辺づくり委員会(伊賀)・パークはびきやま管理運営協議会(羽曳山区会) 参画幼稚園:市立埴生幼稚園・市立埴生南幼稚園 H21実績:5月・10月に各幼稚園に花苗を600株ずつ配布し、約1ヵ月間幼稚園の園庭にて花苗の育成を行う。 6月・11月に対象施設に地元団体と幼稚園児がいっしょに花苗約350株の定植を行う。その後、地元団体において花苗の管理を行って頂く						
	根拠法令等						
事業開始時期		☐ 昭和 21 年開始 ☐ 明確にはわからない ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望							
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他			委託内容		

区 分		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込み)
事業費【1】		(千円)	250	250
人件費【2】		(千円)	0	3,180
職員数	正規職員	0.00 人	0.40 人	0.40 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.05 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.10 人	0.10 人
	超過勤務(参考)	(時間)	0.00 時間	15.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】		(千円)	0	3,430
財源内訳	国費	(千円)		
	府費	(千円)		
	市債	(千円)		
	その他(手数料・使用料等)	(千円)		
	一般財源	(千円)	0	3,430
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	20年度	21年度
① 花苗の定植回数		回		4
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		円	857,500 円	883,750 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		円	0 円	29 円
				30 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	①	(式)	%	当該事業の内、全員で活動する花苗の定植作業回数 実施回数÷計画回数×100	目標		100	達成率(%)		100
					実績		100	100.0%		
	②	(式)			目標			達成率(%)		
					実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	地域との連携・協働により、施設の適切な管理・運営が図れていること

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	☐	☐	☒	当該事業箇所は、地域の財産であるため池の一部を埋立て、不特定多数の方々が利用することのできる利活施設を整備した箇所であり、本市と地域との協定等により地元で維持管理を行っている。このような取組の中、地元幼稚園児と地域の方々が一緒に花を植え、にぎわいを創出することにより、施設の活性化を促し、地域の和・施設の大切さを育むことができる事業である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☐	☐	☒	
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	緊急性が認められる	☐	☒	☐	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	地域・市・幼稚園がそれぞれの役割分担により、事業を展開しており、地域は、施設への花苗の定植後の管理・育成、啓発活動等を行い、市は、花苗の購入・配布や花壇の土づくり・啓発活動等を行い、幼稚園は花苗の育成・啓発活動を行っている。全体の取組として、花苗を施設に定植する時には、全員が集まり、イベントとして行っている。
	受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☐	☒	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	市民協働の位置づけを有していると共に、施設への再認識が見受けられ、地元からは、悪戯が減ったとの声を頂いている。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない	☐	☐	☒	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	市民協働事業であり、地元・幼稚園も、当該事業に賛同して頂き、積極的な取組をして頂いていると共に、事業に対する意見等も取り入れ活発な活動を行っている。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	それぞれの役割分担の中、年間を通して花の絶えない潤いのある施設・にぎわいのある施設となっており、目標は達成している。
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	平成21年度より事業展開をしているが、地元の声として、地元幼稚園児との交流を図ることができ、楽しみである等より地域コミュニティの形成の一役を担っていると伴に、子供たちの悪戯が減少し、施設を大切に使用することにより、苦情・管理費が減少したとの声も頂いおり、必要不可欠な事業である。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
本事業は継続することにより、より一層の事業効果を生み出すことのできる事業である。そのためには、地域の方々等とどのような連携・協働を行うか、また、慢性化した事業展開ではなく新たな創意・工夫の創出を地域の方々等の意見や他の事例を参考に協議し、取り組んでいかなければならない。		
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了	